

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス
りあきっず

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2 職員の配置数は適切であるか	○		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		段差をなくし、バリアフリー化されています。視覚的にわかりやすく行動しやすいように配置を工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者様にもアンケートを実施し、改善する点については事業所全体で話をしながら改善に向けて取り組んでいます。ホームページに公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	必要に応じて検討しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修、外部研修に参加しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		支援計画を更新する際は、保護者様と面談を行い、アセスメントシートでお子様の様子や今後の支援について検討しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		わかりやすい物を使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		「本人支援」「家族支援」「地域支援」「移行支援」の項目を選択し支援内容を設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援内容は事業所内で把握し、計画に沿った支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		療育内容については、月案で作成しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎回目替わりで、活動内容が固定化しないように工夫しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動、集団活動にて取り組める内容をそれぞれ組み合わせ合わせて計画に取り入れています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後には毎回、事業所内職員で1日の振り返りを行っています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回個人記録を記入し、計画に沿った内容を記入しています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援期間終了月にはモニタリングを行い、次期計画について検討しています。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者、事業所職員全員が参加し担当者会議を行っています。
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターなどとも連携を取らせて頂いています。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	現在、医療的ケアが必要なお子様、重度心身障がいのあるお子様はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在、医療的ケアが必要なお子様、重度心身障がいのあるお子様はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	小学校入学前には、保育園や幼稚園とも必要があれば情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	小学校の支援学級の先生とは連携を取らせて頂いています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	センター研修には開催時に参加しています。併用先の事業所とは連携を取らせて頂いている場合もあります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	まだ機会がないため、今後機会を作っていけたらと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	開催時には参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎の際や、お電話、LINE等で情報交換をさせて頂いたり、都度お話をさせて頂いています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	ペアレントトレーニングまでには至っていません。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	最初の契約の際、ご説明させて頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	毎回、支援計画の内容説明を行い、保護者様から同意を頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	随時行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者ランチ会を開催しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談があった際には、面談や電話での対応を行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、おたよりを発行しています。他にはインスタグラムにて活動の様子を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	お子様の情報等については鍵付き書庫に保管し、注意して取り扱っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	まだ機会がないため、今後機会を作っていけたらと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	マニュアルに沿って事業所職員で周知しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	対象のお子さんがある際には、しっかりと対応について聞き取りし確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーのお子さんについては、診断書のコピーを頂き対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットの事例について、年に1回研修を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	年1回、虐待防止研修・身体拘束の適正化に関する研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束が必要なお子様がいた場合には、保護者様に説明し、支援計画に記載し同意を頂きます。

○ この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。